

佐久間鼎 さくま なるみ 心理學・言語學者、文學博士。明治二十一年九月七日
千葉縣生まれ、昭和四十五年一月五日歿（二六六—一九七〇）。筆名サクマ・
カナエ。大正二年東京帝國大學文科大學哲學科卒。ドイツ留學後、九
州帝大法文學部初代心理學教授。退官後駒澤大學教授、東洋大學教授
（のち學長）歴任。グシエタルト心理學を導入し、日本語音聲を研究
した。

譯著書に、ウキリヤム、ジエーム著 『宗教的經驗の種々』（佐藤繁
彦共譯、大正二年五月二十五日星文館）、『國語のアクセント』（大
正六年十一月二十五日心理學研究會出版部「心理叢書」）、『リズム
と人生』（大正九年十月十五日心理學研究會「近世心理學文庫」）、
『國語のアクセント講話』（大正十一年十一月十五日同文館）、『日本語
聲學』（昭和四年四月一日京文社）。『國語問題論』（合著、昭和十
六年七月二十日朝日新聞社「國語文化講座」）、『神秘的體驗の科
學』（昭和二十二年八月十日光の書房）、『日本語學』（昭和二十六
年九月一日朝日新聞社「朝日新講座」）等。